

保育おおさか

No. 474

平成 27 年 2 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

第40回保育海外研修 in ハワイ

子どもへの愛情、安心・安全を提供

— 国や習慣が違っても目的は同じ

1月10日～15日の6日間の日程でハワイ・ホノルルを訪問。31カ
園、41人が参加し「Star of the Sea Early Learning Center」を見
学。その後、子どもと一緒に遊んで学べる体験型プレイランド
「Children's Discovery Center」、教材・文房具販売店の「Fisher
Hawaii」へ店舗見学を行いました。

ホノルルはかつてハワイ王国の首
都であり、現在はハワイ州の州都で
す。

政治や経済、文化の中心地である
とともに、ダイヤモンドヘッドやア
メリカ唯一の宮殿イオラニ宮殿など
観光スポット、マリンスポーツが充
実しているため、毎年約635万人
もの旅行者が世界各国から訪れま
す。ワイキキのリゾート地から車で
20分ほどの閑静な住宅街カハラ地区
にあるキリスト教カトリックの幼児
教育センター「Star of the Sea
Early Learning Center」。

利用は直接契約で

ハワイの特徴としてさまざまな人
種、宗教があるため、国籍、宗派な

TODDLER DAILY SCHEDULE	
7:00 - Greet	
8:00 - Breakfast & Work Period	
9:45 - Story	
10:00 - Circle Time	
10:15 - Playground	
10:55 - Washing Hands	
11:00 - Lunch Time	
11:15 - Bathroom	
11:30 - Nap Time	
1:30 - Wake Up Bathroom	
2:00 - Playground	
2:30 - End of Day	

1日のスケジュール

ど区別せず受け入れていきます。また、
日本で保育園に入園するには、親の
就労、家庭の事情などがありますが、
こちらの施設では、申し込みはセン
ターと保護者の直接契約になりま
す。

現在2歳が51人、3歳以上が14
3人の計194人が利用していま
す。保育士は9人、助手と呼ばれる
方が数人います。保育士と子どもの
割合は、トドラー(2歳)は1対6、
キンダー(3～5歳)は1対10とさ
れています。預かり時間は7時～2
時45分。2時45分～5時45分は時間
外保育となっているそうです。

日本では、保育料は保護者の収入
で決定するのに対し、ここでは1年
間で約8200ドルと決まっていま

(2面に続く)



去年の師走選
挙は自公圧勝と
なった。残念な
がら、投票率は
戦後最低を記録
した。政治への
無関心なのか、

争点の不明瞭さだったのか、寒
い風が吹き抜けた。政権安定と
ともに、どうやらこれで消費税
は10%へUPになるの、だろう
か？ 税を無駄遣いせず、国民
に最大の還元を望みたいもので
ある。

さて、そのような時期に新制
度がスタートする。省庁の統合
や育ちの一本化は望むところで
はあるが、現場は何とも慌ただ
しい。待機児童が多い地域では、
入所希望の保護者の心痛も計り
知れない。我々がいかに弾力的
に入所を進めてもカバーできな
いところがあるが、行政ととも
に一層の工夫が必要。

政治も保育も教育も「誰のた
めの？ 何のための？」の視点
に立ち明確にすることが求めら
れるのでは？ 発表会・入園説
明会・卒園式・入園式と息つく
暇もない三学期ながら、より一
層の貢献を目指して頑張りたい
もの。やさしい羊年の初夢で終
わらぬように！

(編集委員 S・S)

(1面から続き)
した。

昼食は調理室で給食を調理し、衛生面からお弁当は持ってこないことになっています。アレルギーの子どもがいたら、医師の診断書をもとに除去食・代替食で対応しています。トイレは乳児・幼児用に分かれ、それぞれセンサー式の水道とペーパータオルで手洗いをします。

自発的な活動を 援助する教育

ここでは、モンテッソーリ教育を実践されています。この方針は「子どもは、



広いお庭と大きな遊具

自らを成長・発達させる力をもつて生まれてくる。大人（親や教師）は、その要求を汲み取り、自由を保障し、子どもたちの自発的な活動を援助する存在に徹しなければならない」ということで、カトリックの厳格な教えにのっとった精神・性格・知情の育成を目指しています。

そのため、子どもたちに直接関わる担任は4年制大学を卒業、または博士課程を修了していることに加え、モンテッソーリ教育プログラムを2年間受けた人が担任をすることになっています。

また、1年を通して保育テーマが決められており、それに沿った保育を展開されています。方針のとおり、目的にあった教材が棚一面に並べられており、自分の興味のある物を選んで自分でマットを敷き、その上で遊ぶようになっていきます。



チルドレンズ ディスカバリー センター

マットを使用することにより、自分の遊ぶ場所を確保できることになっていました。

生き生きとした 学びと愛の場を

トドラーとキンダーでは部屋が別々になっており、



2歳児専用のお庭もあります

各年齢に応じた教材がおいであります。1日の生活リズムの中には、朝・昼・降園前に子どもへの読み聞かせ（お祈り）があります。また、授業計画であるプログラムに取り組む時間を設け、子どもの知能発達段階をチェックしています。園外保育は大人1人に対し子ども3人の割合で、保

護者にボランティアで付き添いをしてもらいます。見学内の説明、質疑応答の際もていねいに答えてくださいました。園長のリサさんは指導者として子どもたちに生き生きとした学びと愛の場を与える責任、そしてこのような教育現場を作る必要性があると語られました。

国や文化・習慣は違っても、子どもに対する愛情や安全な環境の場を与えていくことは同じことが言えるのだと感じました。この経験を活かして子どもたちと明るく元気に保育していきたいと思っています。（旭ヶ丘学園M・M きたの旭ヶ丘学園Y・Y たちはな保育園S・F）

新制度に伴い会則を改正 保育部会臨時総会・新年互礼会

保育部会臨時総会・新年互礼会が1月19日、ホテルモントレグラスミア大阪で開催され、161人が参加しました。

臨時総会では、武内慎吾副部会長より、「会則の改正」について提案。新制度施行に伴い、幼保連携型及び保育所型に限り、認定こども園も会員とする会則の改正について可決されました。

引き続き行われた新年互礼会では来賓として、大阪府議会

引き続き行われた新年互礼会では来賓として、大阪府議会



左：総山会長 右：寺内さん

市、枚方市の行政の方々にもご臨席いただきました。開会あいさつで、永野治男部会長から、子ども・子育て支援新制度や保育人材確保など会員園が直面している課題にふれ、また来年度から実施予定の「オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業（仮称）」への協力が呼びかけられました。そのあと、「育児相談員」の認定証交付式が行われ、179人を代表して、常称寺保育園（枚方市）の寺内真由美さんが受領されました。今後のご活躍を期待しています。（事務局）

人とのふれあいが 心を育てる

行事ごとのアンケートで 家庭の声を集める

門真市

脇田 協田保育園

また、地域の子育て家庭との交流にも力を入れておられ、昨年の秋まつりではハロウィンをテーマに開催。在園児の家族だけでなく、近隣の親子、住民も参加しました。

先生たちは仮装をして参加者をもてなし、地域ボランティアの方が趣味で自作したミニ車が大人気です。運動会では創立以来、組立体操・鼓笛隊に力を入れています。またパラバルーンは前半を3、5歳児が合同で演じ、後半を5歳児のみで演じます。3歳児の保護者からは、「2年後にはあんなことができるようになるのね」と。

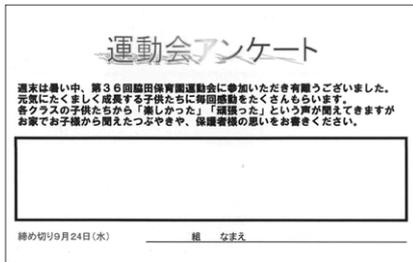
ユニークな取り組みとして、行事ごとに「子どもの声を聞かせてください」というアンケートを取られています。批判的な意見が出

脇 田保育園は門真市の南部、深北緑地公園から徒歩で西へ20分ほどにあります。定員150人の保育園で、団地や学校などに囲まれています。

当園は社会性を身につけることや人との「ふれあい」を大切にしています。一例として、近くの高齢者施設への訪問があります。以前は毎年、年に一回の交流を行っていましたが、今では3カ所へ年間4〜5回の訪問を実施しています。どの施設でも帰りに握手をする



3歳児と5歳児のパラバルーン



運動会での保護者向けアンケート

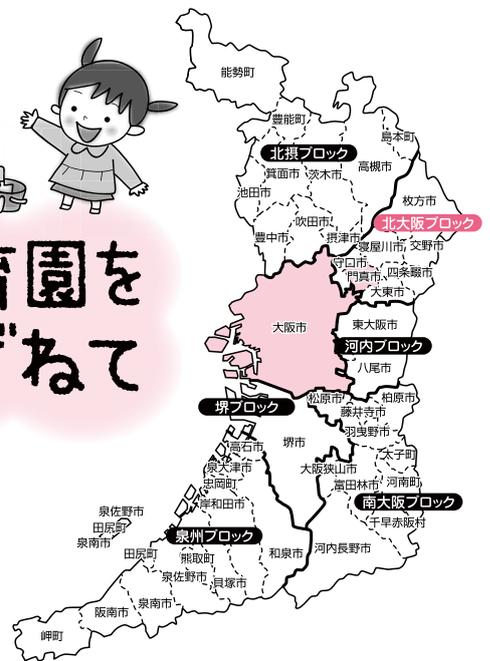
るかと思いきや、「とても面白い」など、建設的な意見がたくさんありました(回収率95%)。

アンケートを通して、家庭の姿がうかがえるそうです。(編集委員J・F)



保育園を たずねて

509



パジャマを片付けた後はおやつを食べます

社 会福祉法人成光苑くるみ愛育園は、平成13年4月開園の、0歳〜2歳までが利用する定員45人の保育園です。

中島みさを園長は、「教え込みではなく、経験の中で自然に身につけていくことを大切にし、自分のことは自分でできるようにしています」と話されました。

2歳クラスでお昼寝が終わったようすを見せていたどくと、起きた子どもからパジャマを各自のリュックに自分で片付け、降園時それを背負って帰ります。地域との関係づくりにも力

を入れておられます。

住宅地の中にあるため、地域の方々のふれあいを大切にいつでもオープンな施設運営を心掛けておられます。外部からの侵入、安全に配慮した上で、園庭の柵は大人の胸ほどの高さで、園庭のようすを外からも見ることができるようになっています。近所の方も気軽に園庭で遊んでいる子どもたちに声をかけ、子どもたちも前を通るご近所の方へ元気にあいさつをします。

職員も積極的に地域との関係づくりを行っておられます。月1回、近くに2つある公園の自治会掃除に参加し、高齢の方々では難しい清掃などを先生方で行われています。園庭で育てている果物も地域の方と職員で一緒に世話をし、収穫

さらに2月下旬には、園と道を挟んだビルの中に図書室、憩いの場を開設、地域の方と子どもたちの交流の場として活用されるそうです。地域の方と子どもたちが笑う姿が浮かんできます。(事務局)



園庭も地域の方との交流の場です

地域とのつながりを
大切に
近所の方と子どもたちが
笑い合える関係を

大阪市

あいくえん
くるみ愛育園

遊びの中から学ぶ 「やさしいところとつよいからだ」

みんなで食育、おいしい食事

堺市

しらさぎ保育園

また、遊びの中で思いやりやコミュニケーション能力が育つよう、1歳から5歳までを異年齢グループに分けて遊ぶ「わくわく保育園プラン」を3年前から展開しています。年長さんがリーダーとしてみんなをま



園舎

しらさぎ保育園は、南海高野線初芝駅から徒歩7分のところにあり、昭和42年に開設されました。園庭に入ると大きなクスノキが迎えてくれます。40有余年子どもたちを見守ってきたシンボルツリーです。保育目標である「やさしいところとつよいからだ」が育つよう、「食育・体育・美育（きれいな音楽を好きになり美しいものに感動する心を育てる）」を保育方針に据えた情操教育に力を注がれています。

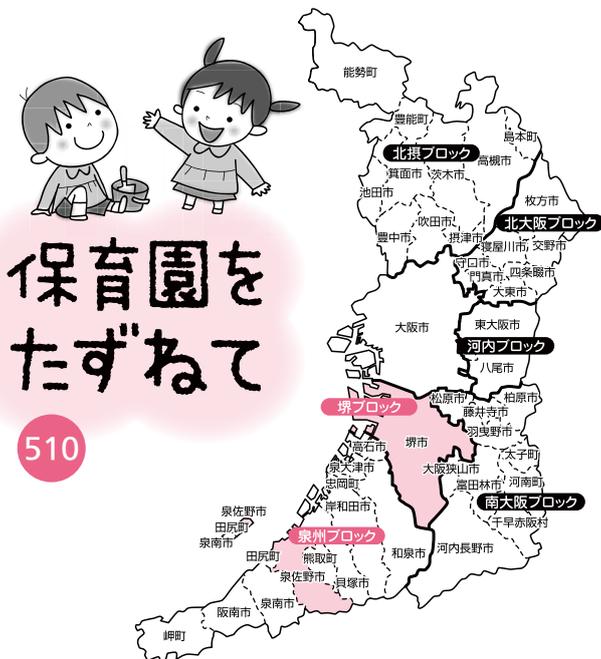


40年以上子どもたちを見守るクスノキ

野菜の栽培や、おやつ作り、おいしく安全な食事について話し合い実践しています。毎日園児と一緒に食事をとられている秋保めぐみ園長は、子どもたちがおかわりするために並ぶ列を眺めながら、「食」を大切にしてきてよかったと喜びを感じます。

試食会や誕生会で食事を提供する保護者が「薄味でおいしい」、「家でも作ってみます」と言ってくださる事が何よりうれしい、と語られます。

年齢に応じたきめ細やかな保育で「やさしいところとつよいからだ」そして「生きる力」を育てておられます。（編集委員K・K）



保育園をたずねて

510

会福祉法人杉の子会 中央保育園は、公立保育所民営化に伴い新園舎を建築し、平成20年度に定員90人で開園した保育園です。南海本線泉佐野駅徒歩8分、りんくうタウンにも近く、周りにはたくさん公園があり、天気の良い日は全クラスが散歩に出かけることもあります。園舎の前には、公立保育所の時から桜の木があり、満開になると園児が桜の下でお弁当を食べたり、保護者や地域の人々も楽しませ

園舎内は木を多く使い、はだし保育がしやすいように廊下や床は桜の木を使用されています。各部屋は園庭に面しており、自然光が入る明るい室内です。平成22年には隣接する土地を購入し、第2園庭と送迎用の駐車場を整備されました。園庭が2つになり、以前にも増してのびのびと竹馬、ドッジボールなど、したい遊びができるようになりました。



園舎前の桜



第2園庭と送迎用駐車場

これから地域に根差し、信頼されるだけでなく、貢献できる保育園をめざして頑張っていきたいと語られました。（編集委員Y・S）

地域に根ざし、貢献できる 保育園をめざして

ハード・ソフトの両面で
地域との関係をつくる

泉佐野市

ちゅうおう

中央保育園

主体的に遊ぶ力、遊びを創り出す力が必要

12月1日ホテルモントレラ・スール大阪にて、平成26年度臨時総会ならびに年末研修会、懇親会が行われました。

最初に「オール大阪の社

会福祉法人による社会貢献事業(仮称)を行うにあたり、保育部会・永野治男部長からあいさつがあり、地域貢献事業推進委員会・委員の篠崎直人氏が事業概要を説明しました。

臨時総会では、平成27年度からの新制度施行に伴い、会則改正の提案があり、承認されました。

懇親会の内容は認可申請・確認申請書類について、運営規程の作成、公定価格について、保育料徴収方法などの説明、市町村単独補助金の情報交換が行われました。各園とも認可定員と

また、今後の国・大阪府からの情報や動向を注視しなければならぬこと、市町村の子ども子育て支援事業計画との整合性を図る必要があることなどが確認されました。



87人が参加

研修会では、大阪総合保育大学大方美香氏より、「子どもの姿から保育の展開を考える」というテーマで講演がありました。子どもが

生きる力を育むために「主体的に遊ぶ力」や「自分たちで遊びを作り出していく力」が必要であり大切であるということ、遊びの充実感、満足感が子どもの自信へとつながっていくことなどを再確認しました。

また、大方氏は「保育で大切にしていることや行っていることをしっかりと保護者に説明していくこと」、「教育、養護の両面を行っていることに誇りと自信を

河内

元プロ野球選手招き

人材育成のポイントを講演

持って保育していくこと」の大切さを強調されました。懇親会には各市保育担当主管の方々も参加され、講師の先生とともに意見交換を行うことができました。

(編集委員H・S)

12月11日、八尾市文化会館にて八尾私立保育園連盟保育士会主催で保育士研修会を開催。講師に元プロ野球選手で現阪神タイガースヘッドコーチの平田勝男氏、現野球解説者の遠山奨志氏を招き、園長と保育士合わせて95人が参加しました。

平田氏の軽快なトーク、

さんぽ



本年4月からスタートする認定こども園の認可申請でお忙しい方も多いか存じます。

泉州ブロックでは年明け早々の1月13日に、堺市の保育園平和の園の篠崎直人先生を助言者に、子ども・子育て支援新制度の勉強会を実施しました。

急な案内にも関わらず出席者は61カ園、69人。関心の高さが伺われます。今のところ27年度から認定こども園に移行する園は34カ園と半分弱ですが、次年度以降に移行を考えておられる園も多いようです。

新制度勉強会開催

今後国などの動向を注視

勉強会の内容は認可申請・確認申請書類について、運営規程の作成、公定価格について、保育料徴収方法などの説明、市町村単独補助金の情報交換が行われました。各園とも認可定員と

また、今後の国・大阪府からの情報や動向を注視しなければならぬこと、市町村の子ども子育て支援事業計画との整合性を図る必要があることなどが確認されました。

泉州ブロック

その後も1号認定こども園の教育時間の設定や長期休暇(夏休みなど)の考え方や給食費の金額設定、保護者徴収金についてなどの意見交換が行われました。皆さん1号認定こどもと2号認

最後に、大変お忙しい中、助言者としてご指導いただきました篠崎直人先生に心から御礼を申し上げます。(泉佐野すえひろ保育園 M・T)



息のあった遠山氏と平田氏 サプライズ参加の中西氏(右)

要所で遠山氏のまとめが入るとい息のあったコンビネーションで進行。現阪神タイガースコーチの中西清起氏もサプライズ参加となり、ますます盛り上がり上がっていききました。

3人の講師からは人材育成のポイントなどを紹介。

1点目は選手育成は「挨拶指導」から入らないと次につながらないこと。

2点目は、課題を出して全部でできる選手もいれば、1つしかできない選手もいる。大事なものは多くの課題を出すのではなく、まず1つの課題を確実にクリアすることを大事にする。

3点目は選手が困っている時は必ず信号を送っている。コーチはしっかりと観察をして変化を見つけて、教えるより自己決定をサポートし、待つことが重要。

4点目は、組織の中で自分の役割を考え実行する。5点目。指導者は多くの引き出しを持つこと。配慮は必要でも、遠慮はしない。どれも保育・教育の現場対応にも考えさせられる内容でした。

(編集委員C・T)